

令和4年10月26日
13:00から14:00
ZOOMにて
定期巡回のクローバー

令和4年度第二回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス

介護・医療連携推進会議録

出席者：内海（民生委員長）、西村（醍醐北部包括センター所長）、瓦葺（同和園訪問看護ステーション管理者）、長谷川（同和園居宅介護事業所所長）、松井（地域）、岩原（クローバー24居宅介護事業所所長）星野（クローバー代表）、立脇（定期巡回のクローバー管理者）、嶋田（クローバー事務長）（書記）

立脇：本日はお忙しいなかお時間を頂きましてありがとうございます。でははじめさせていただきます。

先ず先日お渡ししている、レジメや資料の確認をさせていただきます。レジメですが会議録となっておりますがレジメです。訂正させていただきます。

周知活動の資料を3枚と自己評価・外部評価の用紙A3、2枚をお渡ししております。そろっておりますでしょうか？

構成員名簿ですが、本日民生委員の内海様に参加をして頂いています。

名簿にはございませんが弊社、居宅事業所の所長岩原も本日参加させて頂いています。

又松井様ですがふれあいカフェトハウス代表として前回まで参加頂いていましたが、今回は活動内容に変化があったとのことで所属などは空欄とさせて頂いています。

詳細については活動内容や地域で感じておられることとして(4)その他地域の変化・課題などの項目でお話し頂こうと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

では構成員の紹介をさせていただきます。名簿・ご紹介については順不同とさせて頂いております。

(1) クローバー挨拶、構成員紹介(別紙：構成員名簿あり)

構成員紹介と弊社クローバー24居宅介護事業所 所長岩原です。

代表社員星野、本日記録をつとめさせて頂く事務長の嶋田と司会を務めさせて頂く立脇です。では・・・

代表星野より挨拶

先日、観修小学校の150周年のイベントに参加してきた。山科は東山地区に次ぐ京都市第二位の高齢者化率ということもあり、子供の数の少なさと高齢者の多さを感じたと同時

に地域提供をしている定期巡回事業所の少なさを日々実感している。小規模事業所の閉鎖も全国的に相次いでおり、生産年齢人口の減少も含め、将来的には合併なども視野に入れた経営を考えねばならないかと感じている。事業所としてさらに成長するために地域のお声などを聴かせて頂く機会として本日もお願いしたい。

(2) R4年4月からR4年10月までの事業所の動き、周知活動について(別紙:3枚あり)

○醍醐事業所について

この間のご利用者の推移について

R4年3月時点で醍醐だけで28件の契約がありましたが9月には21件となりました。この間の平均したご利用者に推移は20件から25件の間をうろうろしているような状況です。周知活動を行っていますが、必要としておられる方がそれぐらいなのか?まだまだ周知・ご理解不足なのかどうかと思っています。契約はコンスタントにあるものの、要介護度の高い方が多く、終了と入れ替わるような状況も見受けられます。

○山科出張所について(R4年2月開設)

現在ご利用者 18件

9月15日の時点です。山科方面には定期巡回のサービスが行き届いていなかったと言うことも有り、相談も多く頂いています。山科の方も連携推進会議も今月5日に行い、9月25日には観修小学校150周年の行事にも行かせて頂きました。

ここまでで何かご質問はございますか?

○クローバー24居宅介護事業所について(R4年3月開設)

ではクローバー24居宅事業所については所長の岩原よりお話をさせていただきます。

・所長 岩原より

小規模だからこそ小回りが利くところなどメリットも実感しながら日々ご利用者と関わっている。定期巡回のサービス自体が少ないので、定期巡回をどのように使ったら良いかわからないというケアマネージャーは多いのが現実であり、このサービスが有効的に利用して頂けるよう、ケアマネージャーとしての立場から地域のケアマネージャーにご説明していければと考えている。

○周知活動について数枚資料提供(13:25から13:30)

この間も醍醐方面と山科方面の周知活動を行っております。今回配布した内容の一部が資料としてお渡ししているものです。勉強会についてですが、現在山科の訪問看護事業所1

件より勉強会の依頼が有ります。

もっと定期巡回随時対応サービスを知って頂くために、例えば地域の方に周知活動として、トトハウス様の場所をお借りして地域住民に勉強会と介護相談の場を設ける活動はどうかと思うのですがどうでしょうか？

松井様：毎月知り合いの看護師に話を聞く会を行っている。場所が狭いので人数は7～8名といったところだが、皆さん興味津々に聞かれている。介護の事や自分の終末期のことなど心配はあるがどこになにを聞いたら良いか分からないというのが実態なので、ぜひお願いしたい。

➡ケアマネージャーもいるので、抱き合わせで介護相談会のような物もできればと考えているので実施させて頂きたい。

或いは地域包括がブースを出される時などに声を掛けて頂いて介護説明のお手伝いをさせて頂くなど。そのような事が今後出来ればと思います。

地域で介護の事で悩んでおられる方も多いと思うので、地域の行事のお手伝いなどさせてもらいながら、地域の方との関わりを持たせたいと思いますのでお願いしたい。

内海様：11月に地域の会合をもっており、来年2月もしくは3月に次回を企画しているので、一人住まいの高齢者が集まる場なので、そこでお願いするかもしれない。「なにをどうしたらええのか」ということをちょっと聞きたい、というような方向けへの窓口と言う形でもいいのではと考えている。

(3)自己評価・外部評価について

昨年もご協力頂きました外部評価についてですが中々内容が分かりにくいものである為、評価も難しいと思います。弊社では独自のものを作成し職員にも分かりやすいように努めていますが、構成員の方々にも、この場で質問等をして頂き、外部評価をして頂こうと思います。各項目のご説明をこれからさせていただきます。

外部評価につきましてはR4年11月30日を提出期限とさせていただきます、12月初旬に立脇より電話の上、回収に当たらせていただきます。

項目5

西村様：地域の方々も介護にかかる様々な情報は欲しいと感じておられる。一番有効的なのは、実際の個別の支援を通じて近隣の方々の協力をいかに得ていくか、という課題に対して取り組んでいくことだと思う。地域の課題を面として捉えるとなかなか何からするか難しいということもあるが、そうした個別の関わりからの地域との接点を持つていくことが遠回りのようで、一番確かな道ではないかと感じている。

項目7

浅田様：「自立支援」や「未来志向型」の計画書ということを記載されているが、ケアプランを元に作成されていると思うが、実際どのように感じるか逆にお尋ねしたい。

➡日々の活動を通して、気付いたことなどを共有しながらより良い支援に繋げていければと思

っているが、未来志向型というところに一番みんなが引っかかっているのかなと思う、お手伝い支援になってしまったり、と。

岩原様：「未来志向型」というのはケアマネージャーとしても課題だと感じている。ケアマネージャーは月に一回の訪問である為、毎日支援するヘルパーのそういった志向の報告が日々なされることで、次のケアプランに活かせるのではないかと、思う。

瓦葺様：まめに連絡いただいている、家族や身体状況などタイムリーに連絡を入れてくださっている。看護師が行かないといけない事は少なく、適切な対応もしてくださっていると感じている。

項目 9

浅田様：ケアプランについてもご説明の上、ご理解いただいているとは思っているがご理解頂けていない事の実感はある。繰り返し実態に合わせて変更し、都度説明することが大事だと考えており、定期巡回においても同様なんだろうと感じる。

項目 10

瓦葺様：スマケアも見ながら分からない所はこちらから連絡させてもらったりして、しっかり情報共有できていると感じるが、家族が独自に作成されているノートについては、時折よくわからない所もあり、家族それぞれの要望があって難しいかもしれないが、ノートの使用方法について統一した使い方ができるとさらに良いのかもしれない。

岩原様：連携は顔が見えたり、少し相手を思いやれることができたりするとさらに良いものになると感じる。相手の顔も知らなければ連絡ひとつも緊張すると思うし、顔がみれるような研修などにか機会があれば、積極的に参加されると良いと思う。

(4) その他地域の変化・課題等

では冒頭の紹介のところでお話ししておりました松井様のより現在の活動内容も含め、CH引きで感じていることをお話し頂ければ・・・

松井様：種々な事態からカフェ営業を辞めようとなったが、若い支援者さんが現れ、このスペースを残そうということで「ふれあいスペース」として継続されている。「レインボーカフェ」という別の集まりで、地域の古民家を使って16名の参加者のもと地域包括センターの方や認知症初期集中支援チームの先生にも来て頂いて介護について様々な話を聞ける機会を設けた。皆さんから大変好評を頂き、継続していきたいと思っている。偶数月に実施している。12/3にも再度初期集中支援チームの先生が再度来られる予定で、他にもお芝居仕立てで認知症についての学びを深めてみようという試みも考えている。

子ども食堂も継続している。

その他の方々にも意見など求める。

西村様：定期巡回は地域にとって不可欠なサービスになると確信している。病床も増える方向ではない、特養も数は限られている。そうなる地域で支えないといけないケースは

増えていくと思うので、是非とも頑張って欲しい。

(5) その他

R5年度第1回 介護・医療連携推進会議 : 令和5年4月に予定しております。ご協力をお願いいたします。

以上